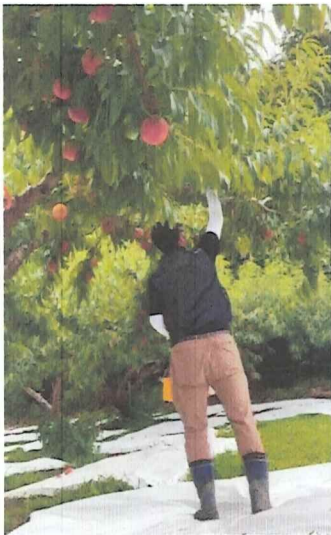


研究テーマ

繋げ！農業遺産

～新規就農者の思いと願い～



井尻小学校

6年 荒井 瑛祐

1 研究の動機

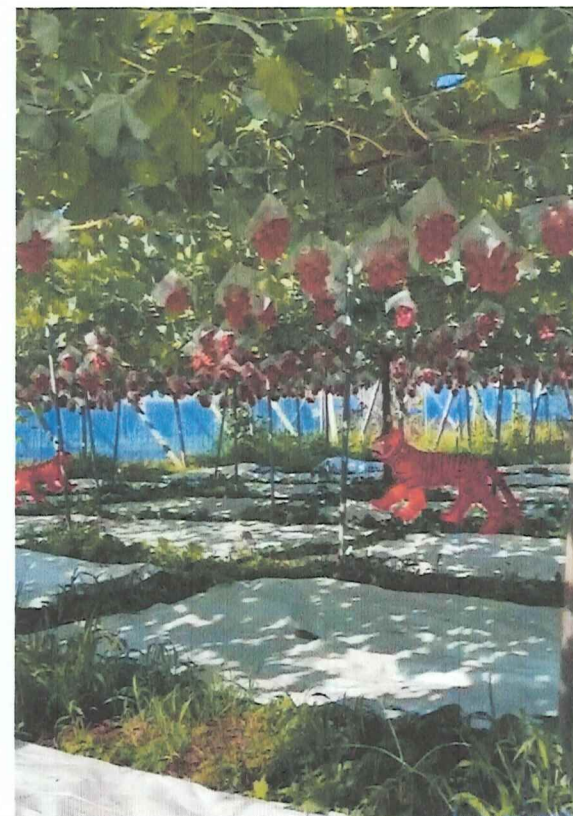
- 5年生の時に出前授業を受けて、峡東地域が「世界農業遺産」に認定されたことを知り、ぼくの住んでいる地域のすごいところを学んだ。ぼくのおじも農業をしているので、農業についてもっと知りたいと思った。
- おじは、昨年祖父が亡くなってから、祖父のしていた桃とぶどう作りを引き継いでやっている。それまで別の仕事をしていたおじが農業をするのに大変なことがあったのではないかと考え、おじから農業について話を聞いてみたいと思った。

2 研究の方法

①冊子「峡東の世界農業遺産」で調べる

②インターネットで調べる

③おじにインタビューをする



3 研究の結果

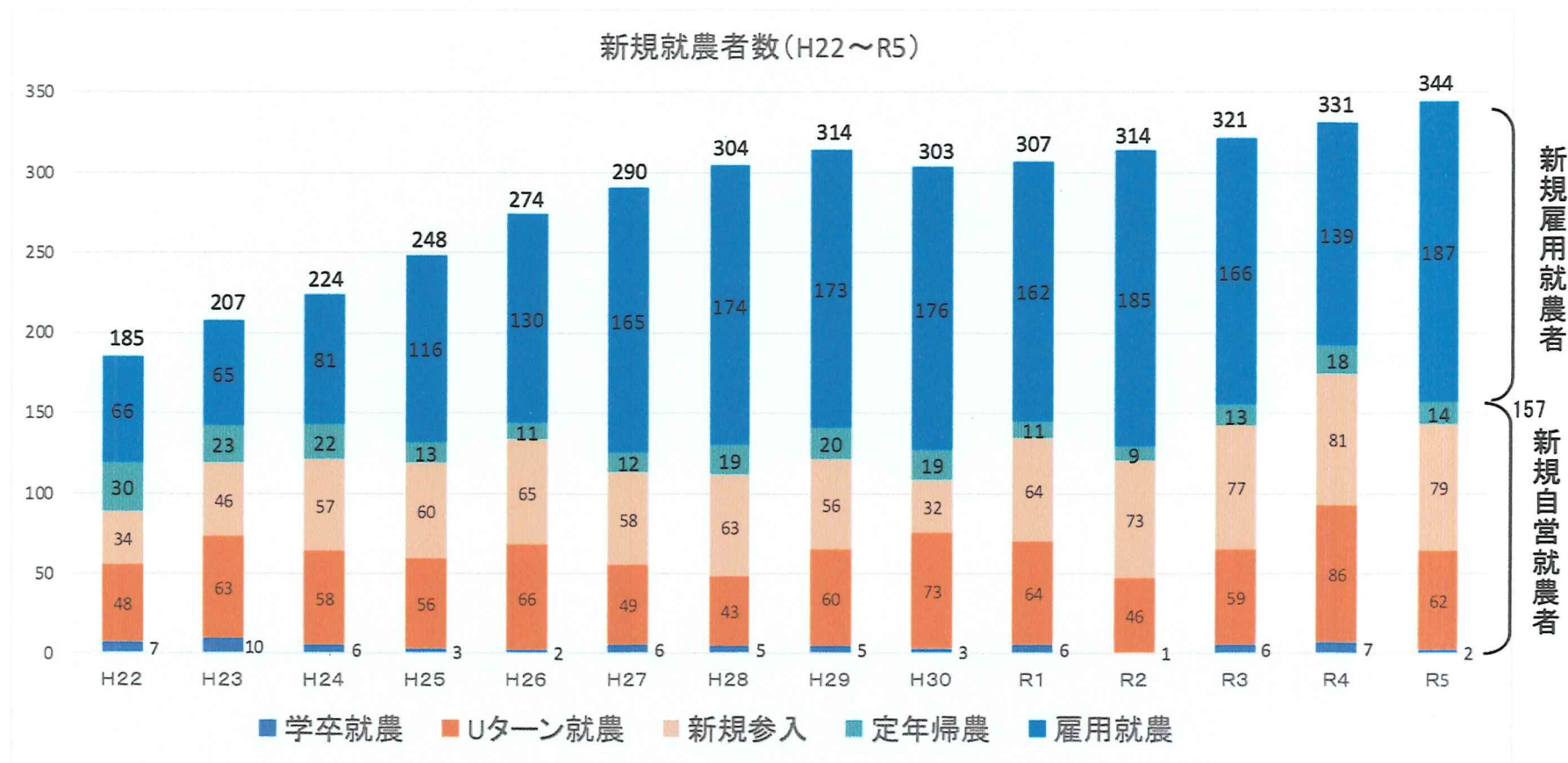
①冊子「峡東の世界農業遺産」を読んでわかったこと

- ・若い後継者が少ない。
- ・高齢の農家の負担が大きくなっている。
- ・農家をやめてしまう年寄りが増えている。

②インターネットで調べてわかったこと

- ・おじのように農業を始めた人を新規自営就農者という。
- ・山梨県の果樹栽培を中心とした新規就農者は増加傾向にある。
- ・山梨県では新規就農にさまざまな支援制度がある。

新規就農者の推移（平成元年～令和5年度） 山梨県担い手農地対策課



②おじにインタビューしてわかったこと

	インタビューしたこと	わかったこと
1	どうして農業を継ごうと思ったか	長男としてこの地域で代々受け継がれてきたものを守り続けていくのが自分の使命だと思っていたから。
2	新規就農は大変か	資金面、技術面で大変なことがある。しかし、独立ではなく親元だったため土地を買うなどの苦労はなかった。
3	どうやって農業を覚えたか	10年前くらい母親が体調を崩して畑仕事を手伝うことから、父親と一緒にやったりして少しずつ農作業の技術を覚えた。 今はJAの講習会や「山梨の園芸」という本で勉強したり、YouTubeでも最新の情報を取り入れる。
4	1日の動きは	6月から7月は朝5時から収穫し、箱詰め→出荷の作業を夜8時頃までやっている。収穫期以外は朝8時から夕方頃まで肥料をまいたり、剪定や消毒をしたりする。
5	農業を始めるにあたって何が一番大変だったか	お金がすぐに入らないため安定するまでが大変。お金が入るのは3ヶ月だけなので、物価高で肥料なども値上がりしているので、お金の管理が大変。
6	農業をやっていてうれしいこと	食べてもらって美味しかったと言ってもらえるのが一番嬉しい
7	これから農業をやっていくにあたって必要だと思うこと	農業の担い手が増えていくこと（特に若者） そのために自分もSNSで農業を発信している

4 研究のまとめ

- 新規就農には、資金面や技術面で大変なことがあることがわかった。また、山梨県にはさまざまな就農支援の制度もあることも知った。そのような制度を使って、これからも農業に就く人が増えていくといいと思った。
- 農家の人たちが安心して美味しい果物作りができることは、峡東地域が世界農業遺産として、このままずっと残っていくために大切なことだと考えた。
- インタビューの最後におじが農業の中で「天候や天気は自分ではどうすることもできない」と悔しそうに言ったことが印象に残った。農業遺産を繋いでいくには、そのような苦労もぼくたちが知って、ぼくたちにできることを考えて行動することが必要だと思った。

<参考にしたもの>

- インタビューした人
おじ 芦沢 隆（芦沢フルーツ園）
- 読んだ資料
冊子「峡東の世界農業遺産」
井尻小学校世界農業遺産学習 資料
- 調べたウェブサイト
山梨県ホームページ
https://www.pref.yamanashi.jp/ninaite/ninaiteshien/omona_jigyoku.html

山梨県農業振興公社ホームページ
http://www.y-nk.jp/situation_new_farmers/